

図書館だより

2020
№192



- 湘南大庭市民図書館が開館20周年を迎えます!! P1
- 藤沢市図書館のボランティア紹介 P2~3
- 新・善行市民図書室がオープンしました P3
- 郷土の文化人 その18 小山 明子 P4

湘南大庭市民図書館が開館20周年を迎えます!!



湘南大庭市民図書館は、南市民図書館(当時の中央図書館)、総合市民図書館、辻堂市民図書館に次いで、藤沢市で4番目の図書館として2000年(平成12年)4月29日に開館し、今年20周年を迎えます。

市内の緑豊かな地域に位置し、当時の「みどりの日」に開館したことから、「みどりの本コーナー」を設けて、園芸や自然保護などの本や情報の収集、地域に密着した事業の開催に力を入れてきました。

今後も様々なご要望に応え、みなさまに親しまれる図書館をめざしていきます。

湘南大庭市民図書館では開館20周年を記念して、いろいろな行事を企画しています。今回は行事の一部をご紹介します。

◆ 生物多様性ってなんだろう? ◆

生物多様性とは生き物たちの豊かな命のつながりのこと。地球上の生き物はすべて直接的、間接的につながり合い、壮大な命の環を織りなしています。

子どもから大人まで楽しめる、生物多様性に関する資料の展示を予定しています。

生物多様性について一緒に考えてみませんか?

【資料展示】

3月17日(火)から5月17日(日)まで

◆ 大きな絵本のおはなし会 ◆

開館記念日には、大型絵本や大型紙芝居を使ったおはなし会を行います。

日時: 4月29日(水・祝)

午前11時から11時30分まで

場所: こどものへや 絵本コーナー

このほかにも、生物多様性に関する講演会、映画鑑賞会、「親子でとしょかんたんけん」などの行事を予定しています。各行事の詳細は、チラシ、ポスター、藤沢市図書館ホームページをご覧ください。

【市民図書館】 総合市民図書館 (Tel.43-1111) 南市民図書館 (Tel.27-1044) 辻堂市民図書館 (Tel.35-0028)

湘南大庭市民図書館 (Tel.86-1666)

【市民図書室】 長後 (Tel.43-7655) 明治 (Tel.35-7095) 辻堂 (Tel.35-7076) 村岡 (Tel.28-6939)

片瀬 (Tel.28-6935) 遠藤 (Tel.88-6235) 六会 (Tel.83-4686) 善行 (Tel.83-4687)

藤沢 (Tel.28-6895) 鶴沼 (Tel.35-7096) 御所見 (Tel.48-4675)

図書館のホームページ <https://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



(スマートフォン版)



(携帯版)

藤沢市図書館のボランティア紹介

【図書館・図書室おはなし会ボランティア編】



藤沢市の市民図書館・市民図書室では、子どもたちに本の楽しさを伝え、本の世界に親しむきっかけとなるように、それぞれの年齢層に合わせたプログラムのおはなし会を行っています。

図書館・図書室のおはなし会は、多くのおはなし会ボランティアのみなさんと職員が協力して子どもたちに本の楽しさを届けています。おはなし会ボランティアの活動は、図書館・図書室にとって欠かせないものです。

今回は、辻堂市民図書館のおはなし会ボランティアの活動を紹介します。

①準備

おはなし会は2~3人のボランティアと職員で協力して行います。打ち合わせでは、当日読む本の案を出し合い、誰がどの本を読むのか担当を決めます。

おはなし会当日は、プログラムの最終確認をし、看板を立てたり、絵本や紙芝居を用意して、子どもたちを迎えます。



②本番

本番が始まるとボランティアと職員が、プログラムどおりに進行しているか、そして集まってくれた子どもたちに絵本や紙芝居が合っているかをお互いに確認しながら進めます。

読み手でないボランティアは、子どもたちが楽しんでくれているかをさりげなく見守ります。

③終了後

片付けをし、反省会を行います。

お互いに良かった点、気がついた点を話し合い、記録をつけて、次のおはなし会に活かします。



藤沢市図書館では、各図書館・図書室のおはなし会ボランティアの代表が集まる連絡会や研修会も開催しています。

みなさんもおはなし会を見に来てみませんか。おはなし会の開催日時は各図書館・図書室にお問い合わせください。

また、おはなし会ボランティアをやってみたい、興味があるという方はお近くの図書館・図書室にご連絡ください。



新・善行市民図書室が

2020年1月10日にオープンしました。



新・善行市民センターの2階に、善行市民図書室がオープンしました。車いすやベビーカーもゆったりと動ける通路が確保されたバリアフリーな室内、可愛い丸テーブルのある明るい児童コーナー、広々とした室内には、おすすめ本が並ぶ展示コーナーも新設されました。

ぜひ、善行市民図書室にお越しください。



2階に上がって目の前が図書室入口です



バリアフリーで広々とした室内



児童コーナー



展示コーナー



閲覧コーナー

おはなし会でも楽しんでいる
わらべうたを紹介します

♪わらべうた♪

ねーずみ ねーずみ どーこ いきゃ？
わがすへ ちゅーちゅく ちゅ！
ねーずみ ねーずみ どーこ いきゃ？
わがすへ とびこんだ！

♪遊び方♪

親子で向かいあいます。

子どもの右手をとって親の左手でささえ、右手の人さし指と中指を、子どもの手先から腕の方へとはわせていき、「とびこんだ！」のところをわきの下をくすぐります。子どもはくすぐりたいので、身をよじって笑います。それを見てお母さんもいっしょに笑ってしまいます。

出典本：『あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん』 小林衛己子／編 大島妙子／絵
のら書店 に載っています。 市内の図書館・図書室で借りられます。



こやま あきこ 小山 明子

プロフィール

1935年千葉県生まれ。1955年女優デビュー。映画監督の大島渚氏と結婚後も映画、ドラマ、舞台で活躍。講演、執筆活動も行う。1996年に大島氏が脳出血で倒れ、2013年80歳で逝去するまで献身的に支えた。市内在住50年以上。息子2人、孫5人。

わたしを支えてくれた言葉

南市民図書館には^{なら}檜の木一枚板の大きなテーブル、革張りの椅子が二脚、そして大きなベンチがあります。これらはかつて、大島渚さんと小山明子さん宅のリビングルームにあり、慈しんで使われていました。大島さんが内緒で特注し、鵜沼のご自宅に運び込ませたのです。ひとりでは動かせないほどの重たい椅子は「王様の椅子」と呼ばれていました。

映画監督「世界のオーシマ」が病に倒れ2013年に逝去されるまで、17年に及ぶ介護を経験された小山さん。それまでの「女優であること」とは正反対とも言える日々を支えたのは何でしょうか。小山さんは、大島さんが入院されていた病院の図書室で、読書の喜びに目覚めたとおっしゃいます。谷川俊太郎の詩集に心を打たれ、デーケン神父の著書では「死生学」を知り、「手放す心」を持つことの大切さに胸を突かれたとのこと。多くの言葉の中からご自分の血肉となる何かをすくい取り、縮こまった心にしみ込ませていった、そういうことかもしれません。献立や血糖値をつけていた介護ノートには、その頃出会った文章や言葉が書き留められているそうです。

女優としての華やかさとともに、介護経験についての講演でも多くの人を惹きつけ続ける小山さん。愛する夫のことを語る姿はともてチャーミングです。「私たちは互いに認め合っている存在」「子どもたちがどんなに立派になってもパパがいちばん」「水をチュッチュッと口移しで飲ませてあげて500円！息子にぼったくりバーだと言われちゃったわ」など、お話は尽きません。ご著書『パパはマイナス50点』でも、お二人の絆や愛情が強く感じられます。大島さんに対する深い尊敬の気持ちとともに、世間に冷遇されていた若き日からずっと、大島さんを真に理解し

支え続けたという自負が小山さんを輝かせています。

新聞社から執筆依頼を受けたのは30代の頃。読者からの手紙に返事をしたための身の上相談のようなコーナーでしたが、毎週の連載で自信がなく引き受けるかどうか迷ったそうです。そのとき大島さんは「大丈夫、君ならできる」と背中を押してくれました。40代の頃、「妻・母・女優」として語る講演の依頼がきたときも、やはり励ましてくれました。後年、掲載記事全てを大島さんがスクラップしていたと知り、心が震えたそうです。

小山さんを身体の真ん中で支えているのは、大島さんの愛情であり、かけてくれた言葉なのでしょう。それは今でも決して変わることはありません。

「『禍福は^{あざな}糾える縄の如し』これも好きな言葉です」とさりりと話されました。この一年では思いがけず二度の手術を経験した小山さんですが、麻雀、水泳、一筆画、孫との二人旅にと、毎日の生活を楽しんでいくとのこと。福島県大熊町の中学校への本の寄贈も続けていらっしゃるそうです。先述のデーケン神父の著書に、「ユーモアとは『にもかかわらず』笑うことである」とあります。そして「感謝する心」。そんな言葉を思い起こさせるような、素敵な笑顔を見せてくださいました。



『愛』

書：小山明子

南市民図書館に
展示しています

著書

- 『パパはマイナス50点ー介護うつを越えて夫、大島渚を支えた10年ー』 (2005年) 集英社
『小山明子のしあわせ日和ー大島渚と歩んだ五十年ー』 (2010年) 清流出版
『女として、女優としてー小山明子自伝ー』 (2011年) 清流出版
他多数

関連書籍

- 『真っ白でいるよりも』 谷川俊太郎／著 (1995年) 集英社
『よく生き よく笑い よき死と出会う』 アルフォンス・デーケン／著 (2003年) 新潮社
『君たちはなぜ、怒らないのかー父・大島渚と50の言葉ー』 大島武・大島新／著 (2014年) 日本経済新聞出版社
『タケノコごはん』 (絵本) 大島渚／文 伊藤秀男／絵 (2015年) ポプラ社

一発行一 藤沢市総合市民図書館
藤沢市湘南台7-18-2
TEL 0466-43-1111